

科目名	メディアコミュニケーション論		
担当教員名	鈴木 弘貴		
ナンバリング	KJa101		
学 科	人間生活学部 (K) - メディアコミュニケーション学科 (KJ)		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

メディアコミュニケーション学科専門科目「メディア社会論」と同時開講

情報を伝える「メディア」の発展が、私たち人間の「コミュニケーション」のあり方をどう変えてきたかを考えます。例えば、今や女子大生なら持っていない人がいないであろう、スマホやケータイ。この新たな情報伝達手段の登場で、「待ち合わせ」とか「約束の時間」という行為や考え方が変化してきたのは、皆さん自身が最もよく知ることでしょう。このように、新たな情報伝達手段の登場が私たちの行動パターンやひいては社会のあり方にまで影響を与えてきたことを、この講義では歴史的に学んでいきます。その終着点として、未来のメディアとコミュニケーションが作る社会の姿のヒントを得ることが狙いです。

内容	
1	イントロダクション
2	「メディア・コミュニケーション・論」って何？
3	「ことば」の誕生 「文字」の発明1
4	「ことば」の誕生 「文字」の発明2
5	「大量印刷」法の発達1
6	「大量印刷」法の発達2
7	「電気通信・電氣的記録機器」の発明1
8	「電気通信・電氣的記録機器」の発明2
9	「コンピュータ」の登場1
10	「コンピュータ」の登場2
11	インターネットの時代1
12	インターネットの時代2
13	現代の社会とメディア・コミュニケーションの課題
14	現代の社会とメディア・コミュニケーションの課題
15	まとめ

評価

逐次、小レポートを書いてもらいます(60%)。最後にテストまたはレポート課題をします(40%)。

授業外学習

【事前予習】ニュースなどでメディアの動きに関心を持つ

【事後学修】授業で習ったことを、現代におけるニュースなどで確認する

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

推薦書 『メディア用語基本事典』（世界思想社）

科目名	生活とメディア		
担当教員名	安達 一寿		
ナンバリング	KJa102		
学 科	人間生活学部 (K) - メディアコミュニケーション学科 (KJ)		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

メディアコミュニケーション専門必修科目 (メディア基礎領域) で、専門分野の基礎となる知識を習得したり、メディアリテラシーを修得する科目である。

#### 科目の概要

地理的な境界を越え、時間的、空間的制約なしに情報がネットワーク化され、情報の量と速度は飛躍的に増大している。そして、情報はメディアを通して、我々の生活の中にも、良い面・悪い面も含め浸透している。主体的に情報を取り扱うためには、メディアリテラシーを身につけると共に、生活の中でのメディアの役割や特徴を理解する必要がある。本科目では、メディアは生活をどのように変えたかをテーマに、ソーシャルメディアなどの新しい活用と影響などについて理解を深める。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

- ・メディアに対する基礎的な知識を修得し、メディアと生活の関心や理解を深める。
- ・メディアの特性を理解し、社会や生活との関係を理解する。
- ・現代社会や生活でのメディアに関する課題に関して情報収集・分析を行い、その問題解決を通して、総合的なメディアリテラシーを身につける。

内容	
1	情報社会・メディア社会の現状と課題
2	生活や地域におけるメディアの利活用
3	メディアのパーソナル化
4	コミュニティとしてのメディア
5	モバイルメディアの発展
6	メディアとビジネス
7	教育とメディア
8	日常生活とメディア
9	社会とメディア
10	文化とメディア
11	メディアの安全・安心、危険
12	生活とメディア - 問題の発見
13	生活とメディア - 可能性の追求
14	生活とメディア - 未来へ向けての議論
15	まとめ

## 評価

授業への参加度 10%、ふり返りシートの活用 20%、レポート試験 70%とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前準備】授業で利用する資料を事前にポータルサイトから提供するので、それを利用しての予習

【事後学修】ふり返りシートを利用しての、授業のまとめ

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】使用しない

【推薦書】青木他, 日常生活のデジタルメディア, NHK出版, 2300

土橋他, デジタルメディアの社会学, 北樹出版, 2100

東京情報大学編, 情報学の楽しさ, 東京農業大学出版会, 1600

【参考図書】授業時に紹介する

科目名	プレゼンテーション技法		
担当教員名	安達 一寿		
ナンバリング	KJb106		
学 科	人間生活学部 (K) - メディアコミュニケーション学科 (KJ)		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格

・学科基礎専門科目での位置づけの通り、学科全員にデジタルデバイスを用いた効果的なプレゼンテーションスキルの習得と自分のメディア力を高めることを目指します。

科目の概要

・Power Pointを使える武器として使えるように実践的なスキルを、各自のコンテンツのプレゼンテーションをおこなうことを通して学びます。文字のレイアウト、音声、画像、動画の処理など高度なテクニックも取り入れたCoolなプレゼンテーションのTipsを習得しましょう。

・この授業は、アクティブラーニング ( 学生が自ら正解を探す「能動的学習スタイル」 ) による参加型授業です。授業内の実習だけでは技術は向上しません、課題などハードなハードルも乗り越え、より高いもの達成したいという学生の受講を期待します。

学修目標

- ・プレゼンテーションの基本的な考え方や技能を理解する。
- ・Power Pointの実践的な活用スキルを身につける。
- ・テーマに沿ったプレゼンテーションの準備ができる。
- ・実際に効果的なプレゼンテーションを行うことができる。

内容

- ・『PowerPoint』の基本操作
- ・プレゼンテーションのプランニングと構成
- ・スライドの作成
- ・人前で話すための基本姿勢
- ・プレゼンテーション演習

1	コミュニケーションツールとしてのプレゼン技術
2	プレゼンテーションの基本概念
3	プレゼンテーションマインドを高める
4	プレゼンテーションの設計
5	プレゼンテーションの極意
6	プレゼンテーションの評価
7	ビジュアルプレゼンテーション演習
8	グループプレゼンテーション課題 1
9	グループプレゼンテーション課題 2
10	グループプレゼンテーション課題 3
11	プレゼンテーション制作 1
12	プレゼンテーション制作 2

13	プレゼンテーション制作 3
14	発表・評価
15	まとめ

## 評価

- ・パワーポイント演習課題 20%
- ・グループプレゼン課題制作・発表 40%
- ・プレゼン制作・発表 40%

とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

- 【事前予習】制作発表における事前課題の実施
- 【事後学修】授業に関する事後評価の実施

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

- 【教科書】山崎紅，説得できるプレゼンの鉄則（PowerPoint上級極意編），日経 B P
- 【参考図書】中澤務・森貴史・本村康哲編，『知のナビゲーター』，くろしお出版(入門ゼミナールと同じ)

科目名	プレゼンテーション技法		
担当教員名			
ナンバリング	KJb106		
学 科	人間生活学部 (K) - メディアコミュニケーション学科 (KJ)		
学 年		ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	上級情報処理士		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

・学科専門必修科目コミュニケーション基礎の科目群のひとつであり、学科全員にデジタルデバイスを用いた効果的なプレゼンテーションスキルの習得と自分のメディア力を高めることを目指します。

#### 科目の概要

- ・Power Pointを使える武器として使えるように実践的なスキルを、各自のコンテンツのプレゼンテーションをおこなうことを通して学びます。文字のレイアウト、音声、画像、動画の処理など高度なテクニックも取り入れたCoolなプレゼンテーションのTipsを習得しましょう。
- ・この授業は、アクティブラーニング ( 学生が自ら正解を探す「能動的学習スタイル」 ) による参加型授業です。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

- ・プレゼンテーションの基本的な考え方や技能を理解する。
- ・Power Pointの実践的な活用スキルを身につける。
- ・テーマに沿ったプレゼンテーションの準備ができる。
- ・実際に効果的なプレゼンテーションを行うことができる

#### 内容

- ・『PowerPoint』の基本操作
- ・プレゼンテーションのプランニングと構成
- ・スライドの作成
- ・人前で話すための基本姿勢
- ・プレゼンテーション演習

1	コミュニケーションツールとしてのプレゼン技術
2	プレゼンテーションの基本概念
3	プレゼンテーションマインドを高める
4	プレゼンテーションの設計
5	プレゼンテーションの極意
6	プレゼンテーションの評価
7	ビジュアルプレゼンテーション演習
8	グループプレゼンテーション課題 1
9	グループプレゼンテーション課題 2
10	グループプレゼンテーション課題 3
11	プレゼンテーション制作 1

12	プレゼンテーション制作 2
13	プレゼンテーション制作 3
14	発表・評価
15	まとめ

## 評価

パワーポイント演習課題20%，グループプレゼン課題制作・発表40%，プレゼン制作・発表を40%とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】制作発表における事前課題の実施

【事後学修】授業に関する事後評価の実施

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】山崎紅，説得できるプレゼンの鉄則（PowerPoint上級極意編），日経 B P

【参考図書】中澤務・森貴史・本村康哲編，『知のナビゲーター』，くろしお出版(入門ゼミナールと同じ)

科目名	クリエイティブライティング		
担当教員名			
ナンバリング	KJb107		
学 科	人間生活学部 (K) - メディアコミュニケーション学科 (KJ)		
学 年		ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	上級情報処理士		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

人の心をとらえる文章はどう書くか。「読み、書き、聞き、話す」トータルな常識と文章のスタイルを押さえて、説得力を持つ文章を書けるように指導する。

意思伝達の基本として、手紙の書き方、敬語の使い方等の文章作法から入り、さまざまな文章スタイルを認識したうえで、内容があり、相手を引きつける文章が書けるように努める。

#### 学修目標

- 1 文章への苦手意識を克服し、日常の各場面で文章を活かす発想を身に付けてもらう。
- 2 文章を書くことの楽しさを味わい、文章を作りながら事象に対する見方を深める。

#### 内容

1	手紙の書き方から文章作りを始める
2	敬語の使い方
3	企画書のポイント ( 「何を書くか」「どう書くか」と深く関わる文章の型 )
4	洞察力という池に「人間を磨く物差し」を入れる
5	文章を書くために基礎知識を蓄え、たえず補給しよう
6	語感を伴ったボキャブラリーを増やそう
7	分かりやすく、説得力のある文章のテイスト
8	「どう書くか」とは、5W1Hの1つをクローズアップするということ
9	見出しをつけてから文章を書き始める癖をつけよう
10	見出しができたなら、次はリードに凝りなさい
11	文章作りのツボとなり、見識を高める社説を読もう
12	名文に惚れる、同化する。スターライターの志を持とう
13	誤字・脱字・思い込み等を避ける文章の自己防衛と推敲
14	人物論と自己観察で磨く文章力 ( 文章は書き手自身を映す鏡 )
15	まとめ

#### 評価

課題提出を含む授業への取り組み70点、テスト30点の計100点で60点以上を合格とします。

#### 授業外学習

【事前予習】提示する課題の予習を行う。

【事後学修】学んだテーマを掘り下げさせる。

教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

授業中に指示します。

科目名	クリエイティブライティング		
担当教員名			
ナンバリング	KJb107		
学 科	人間生活学部 (K) - メディアコミュニケーション学科 (KJ)		
学 年		ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	上級情報処理士		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

人の心をとらえる文章はどう書くか。「読み、書き、聞き、話す」トータルな常識と文章のスタイルを押さえて、説得力を持つ文章を書けるように指導する。

意思伝達の基本として、手紙の書き方、敬語の使い方等の文章作法から入り、さまざまな文章スタイルを認識したうえで、内容があり、相手を引きつける文章が書けるように努める。

#### 学修目標

- 1 文章への苦手意識を克服し、日常の各場面で文章を活かす発想を身に付けてもらう。
- 2 文章を書くことの楽しさを味わい、文章を作りながら事象に対する見方を深める。

#### 内容

1	手紙の書き方から文章作りを始める
2	敬語の使い方
3	企画書のポイント ( 「何を書くか」「どう書くか」と深く関わる文章の型 )
4	洞察力という池に「人間を磨く物差し」を入れる
5	文章を書くために基礎知識を蓄え、たえず補給しよう
6	語感を伴ったボキャブラリーを増やそう
7	分かりやすく、説得力のある文章のテイスト
8	「どう書くか」とは、5W1Hの1つをクローズアップするということ
9	見出しをつけてから文章を書き始める癖をつけよう
10	見出しができたなら、次はリードに凝りなさい
11	文章作りのツボとなり、見識を高める社説を読もう
12	名文に惚れる、同化する。スターライターの志を持とう
13	誤字・脱字・思い込み等を避ける文章の自己防衛と推敲
14	人物論と自己観察で磨く文章力 ( 文章は書き手自身を映す鏡 )
15	まとめ

#### 評価

課題提出を含む授業への取り組み70点、テスト30点の計100点で60点以上を合格とします。

#### 授業外学習

【事前予習】提示する課題の予習を行う。

【事後学修】学んだテーマを掘り下げさせる。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

授業中に指示します。

科目名	クリエイティブライティング		
担当教員名			
ナンバリング	KJb107		
学 科	人間生活学部 (K) - メディアコミュニケーション学科 (KJ)		
学 年		ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	上級情報処理士		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

人の心をとらえる文章はどう書くか。「読み、書き、聞き、話す」トータルな常識と文章のスタイルを押さえて、説得力を持つ文章を書けるように指導する。

意思伝達の基本として、手紙の書き方、敬語の使い方等の文章作法から入り、さまざまな文章スタイルを認識したうえで、内容があり、相手を引きつける文章が書けるように努める。

#### 学修目標

- 1 文章への苦手意識を克服し、日常の各場面で文章を活かす発想を身に付けてもらう。
- 2 文章を書くことの楽しさを味わい、文章を作りながら事象に対する見方を深める。

#### 内容

1	手紙の書き方から文章作りを始める
2	敬語の使い方
3	企画書のポイント ( 「何を書くか」「どう書くか」と深く関わる文章の型 )
4	洞察力という池に「人間を磨く物差し」を入れる
5	文章を書くために基礎知識を蓄え、たえず補給しよう
6	語感を伴ったボキャブラリーを増やそう
7	分かりやすく、説得力のある文章のテイスト
8	「どう書くか」とは、5W1Hの1つをクローズアップするということ
9	見出しをつけてから文章を書き始める癖をつけよう
10	見出しができたなら、次はリードに凝りなさい
11	文章作りのツボとなり、見識を高める社説を読もう
12	名文に惚れる、同化する。スターライターの志を持とう
13	誤字・脱字・思い込み等を避ける文章の自己防衛と推敲
14	人物論と自己観察で磨く文章力 ( 文章は書き手自身を映す鏡 )
15	まとめ

#### 評価

課題提出を含む授業への取り組み70点、テスト30点の計100点で60点以上を合格とします。

#### 授業外学習

【事前予習】提示する課題の予習を行う。

【事後学修】学んだテーマを掘り下げさせる。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

授業中に指示します。

科目名	クリエイティブライティング		
担当教員名	荻 太		
ナンバリング	KJb107		
学 科	人間生活学部 (K) - メディアコミュニケーション学科 (KJ)		
学 年	1	ク ラ ス	2Dクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

人の心をとらえる文章はどう書くか。「読み、書き、聞き、話す」トータルな常識と文章のスタイルを押さえて、説得力を持つ文章を書けるように指導する。

意思伝達の基本として、手紙の書き方、敬語の使い方等の文章作法から入り、さまざまな文章スタイルを認識したうえで、内容があり、相手を引きつける文章が書けるように努める。

#### 学修目標

- 1 文章への苦手意識を克服し、日常の各場面で文章を活かす発想を身に付けてもらう。
- 2 文章を書くことの楽しさを味わい、文章を作りながら事象に対する見方を深める。

#### 内容

1	手紙の書き方から文章作りを始める
2	敬語の使い方
3	企画書のポイント ( 「何を書くか」 「どう書くか」 と深く関わる文章の型 )
4	洞察力という池に「人間を磨く物差し」を入れる
5	文章を書くために基礎知識を蓄え、たえず補給しよう
6	語感を伴ったボキャブラリーを増やそう
7	分かりやすく、説得力のある文章のテイスト
8	「どう書くか」とは、5W1Hの1つをクローズアップするということ
9	見出しをつけてから文章を書き始める癖をつけよう
10	見出しができたなら、次はリードに凝りなさい
11	文章作りのツボとなり、見識を高める社説を読もう
12	名文に惚れる、同化する。スターライターの志を持とう
13	誤字・脱字・思い込み等を避ける文章の自己防衛と推敲
14	人物論と自己観察で磨く文章力 ( 文章は書き手自身を映す鏡 )
15	まとめ

#### 評価

授業への取り組み70点、課題執筆30点の計100点で60点以上を合格とします。

#### 授業外学習

【事前予習】提示する課題の予習を行う。

【事後学修】学んだテーマを掘り下げさせる。

教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

授業中に指示します。

科目名	クリエイティブライティング		
担当教員名	荻 太、石野 榮一		
ナンバリング	KJb107		
学 科	人間生活学部 (K) - メディアコミュニケーション学科 (KJ)		
学 年	1	ク ラ ス	2Eクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

##### 科目の性格

人の心をとらえる文章はどう書くか。「読み、書き、聞き、話す」トータルな常識と文章のスタイルを押さえて、説得力を持つ文章を書けるように指導する。

意思伝達の基本として、手紙の書き方、敬語の使い方等の文章作法から入り、さまざまな文章スタイルを認識したうえで、内容があり、相手を引きつける文章が書けるように努める。

##### 学修目標

- 1 文章への苦手意識を克服し、日常の各場面で文章を活かす発想を身に付けてもらう。
- 2 文章を書くことの楽しさを味わい、文章を作りながら事象に対する見方を深める。

#### 内容

1	手紙の書き方から文章作りを始める
2	敬語の使い方
3	企画書のポイント ( 「何を書くか」 「どう書くか」 と深く関わる文章の型 )
4	洞察力という池に「人間を磨く物差し」を入れる
5	文章を書くために基礎知識を蓄え、たえず補給しよう
6	語感を伴ったボキャブラリーを増やそう
7	分かりやすく、説得力のある文章のテイスト
8	「どう書くか」とは、5W1Hの1つをクローズアップするということ
9	見出しをつけてから文章を書き始める癖をつけよう
10	見出しができたなら、次はリードに凝りなさい
11	文章作りのツボとなり、見識を高める社説を読もう
12	名文に惚れる、同化する。スターライターの志を持とう
13	誤字・脱字・思い込み等を避ける文章の自己防衛と推敲
14	人物論と自己観察で磨く文章力 ( 文章は書き手自身を映す鏡 )
15	まとめ

#### 評価

授業への取り組み70点、課題執筆30点の計100点で60点以上を合格とします。

#### 授業外学習

【事前予習】提示する課題の予習を行う。

【事後学修】学んだテーマを掘り下げさせる。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

授業中に指示します。

科目名	放送メディア論		
担当教員名	好本 恵		
ナンバリング	KJc110		
学 科	人間生活学部 (K) - メディアコミュニケーション学科 (KJ)		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格・・・放送の役割や課題について学び、テレビなどの放送メディアとのかかわり方を考える。

科目の概要・・・私たちはマスメディアによって世の中の情報を入手している。一方インターネットを活用することで、私たち一人ひとりが情報発信者として世の中の動きに参加できる時代になっている。放送を取り巻く環境の変化や放送の歴史を学び、放送現場で働く人々の姿を知ること、私たちは放送とどのようにかかわれば良いのかを考えていく。外部の講師を招く可能性もあるので、特に熱心な学生の参加を希望する。

学修目標 (=到達目標)・・・自分の判断で放送やインターネットを上手に利用し情報社会と関わっていく姿勢を身につける。

内容	
1	放送とはなにか
2	放送の歴史
3	放送は何を伝えてきたか
4	視聴者は放送とどう関わってきたのか
5	テレビ番組を分析する
6	放送アーカイブス事業
7	放送の現場～報道と記者の仕事
8	放送の現場～アナウンサーの仕事
9	放送の現場～番組制作とコマーシャル
10	現代の放送番組の課題・問題点について議論する
11	放送とインターネットについて
12	放送技術の歴史 (放送博物館)
13	メディア・リテラシー
14	放送の未来と私たちの暮らし
15	まとめ

評価

日頃の授業への取り組み(20%) ミニレポート(40%) 期末レポート(40%) とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】プリントなど資料を読む。指定された番組を視聴して疑問点などをまとめる。

【事後学修】ミニレポートなどを書く。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】教科書は使わない。

【参考図書】『データブック世界の放送2014』NHK放送文化研究所編 NHK出版

『改訂版メディア文化論』吉見俊哉著 有斐閣アルマ

『テレビ視聴の50年』NHK放送文化研究所編 NHK出版

『放送メディア研究』日本放送協会放送文化研究所

『叢書現代のメディアとジャーナリズム1～6』ミネルヴァ書房

『放送ウーマンのいま』日本女性放送者懇談会編 ドメス出版

科目名	広告論		
担当教員名	岩本 昭治		
ナンバリング	KJc211		
学 科	人間生活学部 (K) - メディアコミュニケーション学科 (KJ)		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

現代社会において広告は、経済活動の一環として今や切っても切れない存在である。現代経済の消費行動において広告の役割、マーケティングの中の広告の位置づけを学生の身近の問題・そして課題として捉えてもらうことを狙いとします。

#### 科目の概要

広告の定義、歴史、マーケティング、広告媒体ビジネスなどを各個別にレクチャーし広告の全体像をつかんでもらう。

#### 学習目標

学生にとって身近な広告は実はこのような目的であり、ねらいであったか、広告媒体というのは、どのようなもので、その媒体の価値は、その媒体での広告ビジネスはどういうものかを具体的に教室で提示し社会のなかでの身近にある広告の位置づけ、役割を認識してもらう。

内容	
1	講義の概要と広告トピックス
2	広告の定義と歴史
3	広告の機能と種類
4	マーケティングと広告
5	広告主の組織と役割
6	広告主の組織と役割
7	最近の広告主の動向
8	広告会社とは・・・。
9	新聞広告ビジネス
10	雑誌広告ビジネス
11	テレビ広告ビジネス
12	ニューメディア広告ビジネス
13	S P 広告ビジネス
14	広告倫理
15	まとめ

#### 評価

授業への取り組み70%、課題30%とし、総合評価60点以上を合格とします。

#### 授業外学習

【事前準備】提示する課題の予習を行う。

【事後学修】学んだテーマを掘り下げさせる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】授業中に指示

【推薦書】授業中に指示

【参考図書】授業中に指示

科目名	異文化コミュニケーション		
担当教員名	田総 恵子		
ナンバリング	KJc112		
学 科	人間生活学部 (K) - メディアコミュニケーション学科 (KJ)		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

学科選択科目として、異文化コミュニケーションの特徴を学ぶ。

異なる文化的背景を持つ人と出会ったとき、私たちはうまくコミュニケーションができないと感ずることがある。それは、手段 ( 言語、非言語 ) が充分でないからなのか、それとも、考え方 ( 文化 ) が違うからなのだろうか。授業では、コミュニケーションの方法と文化のつながりについて考え、異文化間のコミュニケーションの特徴を探る。さらに、「ネット社会」の急速な発展など最近の社会の変化が、異文化コミュニケーションのあり方に及ぼしている影響についても考えてみたい。

文化の違いとは何かを理解すると同時に、自文化についても考え直すきっかけとする。

内容	
1	異文化コミュニケーション研究の歴史 ( 1 ) : 外なる異文化
2	異文化コミュニケーション研究の歴史 ( 2 ) : 内なる異文化
3	コミュニケーション : 何を伝えるか
4	コミュニケーション : どうやって伝えるか
5	異文化 : 文化とは何か
6	非言語コミュニケーション ( 1 ) ; 動作
7	非言語コミュニケーション ( 2 ) : 外見
8	言語によるコミュニケーション ( 1 ) : 言語
9	言語によるコミュニケーション ( 2 ) : 思考
10	コミュニケーション・スタイル
11	異文化理解
12	メディアと異文化
13	国際社会における異文化コミュニケーション
14	多文化世界 : 異文化の融合と共生
15	まとめ

評価

レポート ( 50% )、試験 ( 50% ) で総合評価。

授業外学習

【事前予習】身の回りで異文化と感ずたことを記録しておく

【事後学修】授業での説明を参考に、それが異文化と感ずた理由を確認する

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】鍋倉健悦 編著 『異文化間コミュニケーションへの招待』北樹出版、1998年

【推薦書】石井敏 他 『異文化コミュニケーション・ハンドブック』有斐閣選書 1997 年 361.54/I

【参考図書】古田暁 他 『異文化コミュニケーション・キーワード 新版』有斐閣双書 2001 年

科目名	新聞ジャーナリズム論		
担当教員名	大西 正行		
ナンバリング	KJc213		
学 科	人間生活学部 (K) - メディアコミュニケーション学科 (KJ)		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

日々自由に発行され、あらゆる媒体の根幹をなしている新聞のジャーナリズムとしての中核的地位は、ネット等、多様化が著しいメディア環境にあっても、揺らいでいない。そうした観点から、新聞記者は「現代史の綴り手」ともいわれ、とりわけ新聞は立法・司法・行政権力とは別次元の世論形成、すなわち「第四権力」の中心と称せられることが少なくない。その意義を深く見つめる。

#### 科目の概要

新聞ジャーナリズムは、生起する事象に対する間断ない報道と解説的な役割において、読者の民主的、文化的な日常生活の判断のために、どこまでジャーナリズム機能を果たし得たのか。活字ジャーナリズムの代表であり、情報の信頼度が高い新聞の存在を吟味しつつ、部数減等に足元を洗われているジャーナリズムの危機も見据える。

#### 学修目標 (= 到達目標)

新聞離れが進んでいるといわれる中、新聞ジャーナリズムが内包する問題も認識し、学生のメディアリテラシーを養う。

内容	
1	ガイダンス ジャーナリズムの意義は権力監視。なぜ新聞が原点か。テレビとの自由度の差
2	新聞とジャーナリズムの発達
3	ワシントンポストとウォーターゲート事件
4	「由らしむべし知らしむべからず」に対する新聞の挑戦
5	新聞が雑誌ジャーナリズムに負けた元首相の金脈報道
6	新聞と権力 ( 毎日新聞の沖縄密約報道と政治権力 )
7	新聞各紙の論調を読む。リベラルと保守、朝日新聞の慰安婦報道問題
8	新聞と人権 ( 実名報道、メディアスクラム... )
9	全国紙に対峙する地方紙の報道観と地域主義
10	新聞と中立...局外卓立の難しさ、客観報道
11	記者クラブ問題と新聞
12	表現の自由
13	皇室報道
14	メディアの変革とグローバル化の中で
15	まとめ

#### 評価

授業への取り組み70点、課題執筆30点の計100点で、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前準備】提示する課題の予習を行う。

促す。

【事後学修】学んだテーマを掘り下げさせる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】

【推薦書】

【参考図書】授業中に指示。

科目名	広報論		
担当教員名	大西 正行、石野 榮一		
ナンバリング	KJc214		
学 科	人間生活学部 (K) - メディアコミュニケーション学科 (KJ)		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

広報は広告費を払って行政組織及び企業をPRする広告宣伝とは異なる。そこでは企業・組織のコンプライアンスも意識して伝えるべき情報を社会に発信する重要性が求められ、広報の危機管理機能も注目されている。現代の経済・政治・社会活動は、広報なくして語れない。その認識を深めることを授業の主眼とする。

#### 科目の概要

高度情報社会にあって、公的活動あるいはビジネス等の現場では、広報紙等の広報媒体（広報誌、WEB）と広報業務の位置付けが大きくなっている。その意義と役割を踏まえた「広報のあり方」を学ぶ。

#### 学修目標（＝到達目標）

発信する側からの思考論理を吸収することで、広報（情報）の受け手になったときのメディアリテラシーを学ぶ。同時に新座市等をはじめとする官公庁や地域の各種諸団体、一般企業の広報部門で活躍する志を持つ学生のニーズに応える授業を展開する。

内容	
1	ガイダンス（行政・企業等の「広報」を志す人のために）
2	広報の成り立ちと定義、役割
3	広報とプロパガンダ
4	ジャーナリズムと広報の間で
5	広報と記者クラブとアウトサイダー
6	広報と危機管理（前編）
7	広報と危機管理（後編）
8	新聞と広報
9	WEBとテレビと広報
10	広報の現場学（行政広報：市役所）
11	広報の現場学（行政広報：県庁等）
12	広報の現場学（行政広報：各種諸団体）
13	広報の現場学（企業広報：民間企業1）
14	広報の現場学（行政広報：民間企業2）
15	まとめ

#### 評価

授業への取り組み70点、課題執筆30点の計100点で、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前準備】提示する課題の予習を行う。

【事後学修】学んだテーマを掘り下げさせる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】

【推薦書】

【参考図書】授業中に指示。

科目名	インターネット社会論		
担当教員名	川口 英俊		
ナンバリング	KJc215		
学 科	人間生活学部 (K) - メディアコミュニケーション学科 (KJ)		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格

インターネットによる社会の変化とその問題点を理解する

科目の概要

インターネットの登場は、既存の通信のあり方、産業、社会と国家のあり方は大きな変化をもたらした。またインターネットが大きな位置を社会において占めると共に様々な問題も発生してきている。こうした社会の変化やインターネットの問題点について考察する。

学修目標 ( = 到達目標 )

インターネットが社会にどのような影響を与えるか、またその結果、社会にどのような変化や問題が起こるかを理解し、インターネットの活用に資する思考力を身につけることを目標とする

内容

1. オリエンテーション インターネット社会とは
2. インターネット社会の可能性 何ができるのか、「検索」、ネットショッピング、情報共有
3. インターネット社会の危険性 知識の断片化・希薄化、デマ、誹謗中傷、詐欺・犯罪、有害サイト
4. インターネットの影響1 ネットとメディア、新聞・テレビはなくなるのか
5. インターネットの影響2 ネットと本、本屋・本はなくなるのか
6. インターネットの影響3 ネットと音楽、CDは売れなくなるのか
7. インターネット社会1 電子取引社会、eコマース・ネットショッピング、経済のグローバル化
8. インターネット社会2 情報無料社会-産業再編、貧者への福音か格差の拡大か
9. インターネット社会3 情報発信-個人・地域・コミュニティからの情報発信
10. インターネット社会のあり方1 セキュリティ、パスワード
11. インターネット社会のあり方2 ネットをめぐる法制度、ネットの規制・検閲
12. インターネット社会のあり方3 監視社会
13. インターネットとグローバリズム・ローカリズム 国境はなくなるか・地域は結びつくか
14. インターネットと情報倫理 ネットケット、誹謗中傷、炎上現象
15. まとめ

ネットと世論形成、SNS・掲示板、電子政府等については2年以上履修科目「ネットと世論」において取り上げる

評価

授業での課題 ( 40% ) と小テスト ( 40% )、授業への参加度 ( 20% ) を総合し、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】事前に予告された授業内容、政治行政に関連する時事問題等について予習する

【事後学修】授業で学習した内容を復習し、それについての自分の意見・考え方をまとめる

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業において資料等を用意する

科目名	国際マスコミュニケーション論		
担当教員名	鈴木 弘貴		
ナンバリング	KJc216		
学 科	人間生活学部 (K) - メディアコミュニケーション学科 (KJ)		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目分類 マスメディアコースメディア理論群選択必修

概要：「国際マスコミュニケーション」とは、マス・メディアを中心にした国を越えた社会の間のコミュニケーションをいいます。例えば、高校のときに韓国に旅行にいかれた方は、向こうでNHKを見ることが出来るのに驚いたのではないのでしょうか。また、今や日本のマンガやアニメは世界中で人気があるのはよくご存じだと思います。グローバル化の進展に伴い、こうした国際マスコミュニケーションは質・量共に増大しつづけており、それが国家および社会にとってどのような影響を与えているのかを考えるのが本講義の目的です。「国境を越えるマス・コミュニケーションのインパクト」が講義のサブタイトルです。

取り扱うテーマは、前半は、「国際マスコミュニケーション」を議論していく上で必要な、基本的な事象や概念について、具体的な事例を交えながら解説していきます。取り扱う主な事象・概念は、文化帝国主義、情報主権、国境を越えるテレビ、集团的帰属意識などです。後半は、ヨーロッパ・北米などにおける具体的な「国際マスコミュニケーション」の状況を紹介しながら、前半で解説した概念の理解を深めていきます。講義の締めくくりでは、現在の日本を含めたアジアを取り巻く「国際マスコミュニケーション」の状況を考えてみたいと思っています。

目標：現代における国際マスコミュニケーションの意義と問題点を理解する。

内容	
1	イントロダクション
2	現代の国際マスコミュニケーションの特徴
3	現代の国際マスコミュニケーションの特徴
4	マスコミュニケーションと国民的帰属意識
5	マスコミュニケーションと国民的帰属意識
6	国境を越えるマスコミュニケーション(TV)は何を伝えるのか
7	中間まとめ
8	「国境を越えるマスコミュニケーション」とステレオタイプ
9	「国境を越えるマスコミュニケーション」とステレオタイプ
10	世界情報秩序をめぐる議論と情報主権・文化帝国主義
11	北アメリカにおける国際マスコミュニケーション
12	ヨーロッパにおける国際マスコミュニケーション
13	日韓間の国際マスコミュニケーション
14	アジアにおける国際マスコミュニケーション
15	まとめ

評価

中間テスト ( 40% ) および期末レポート ( 60% )

## 授業外学習

【事前予習】国際ニュースや国際的なメディアの動きに関心を持つ

【事後学修】授業で習ったことを、現代におけるニュースなどで確認する

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【推薦書】ジョン・トムリンソン 『文化帝国主義』 青土社 361.6/T

田中浩編著 『現代思想とはなにか - 近・現代350年を検証する』 龍星出版、1996年

『メディア用語基本事典』（世界思想社）

科目名	マンガ・アニメ文化論		
担当教員名	田中 東子		
ナンバリング	KJd125		
学 科	人間生活学部 (K) - メディアコミュニケーション学科 (KJ)		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

戦後日本の代表的なポピュラー文化として、マンガとアニメーションは相互に影響を与え合いながら発展してきました。その結果、マンガやアニメは、「ソフト・パワー」として現在日本の産業を支える重要なコンテンツになっています。日本ではどうして、こんなにもマンガとアニメが普及したのでしょうか？ その歴史的な文脈を探りながら、わたしたちの社会や文化、日常生活の中でマンガとアニメが果たしてきた役割を、文化社会学的な視点から考察します。そのために、広く社会学、歴史学、文化研究、メディア論、表象論、文学理論など、分析のために役立つ理論や方法論を毎週の講義を通じて紹介していきます。最終的には、受講者が実際にレポートなどを作成する際に使えるような知識を学んでもらうことが本講義の目的となります。また、製作現場が実際にはどのように展開されているかを学んでもらうために、実際にマンガやアニメーションの製作に関わっている特別講師の方を招いて特別講義をしてもらうことになっています。

#### 内容

1. ポピュラー文化としてマンガとアニメをどう考察するか
2. 戦後マンガの歴史 ( 1 ) 手塚治虫が開いた世界
3. 戦後マンガの歴史 ( 2 ) 少年マンガの世界
4. 戦後マンガの歴史 ( 3 ) 少女マンガの世界
5. マンガと表象 ( 1 ) ジェンダーの視点から
6. マンガと表象 ( 2 ) 恋愛の視点から
7. マンガとその製作現場 特別講師の授業
8. 戦後アニメの歴史 ( 1 ) テレビアニメの世界
9. 戦後アニメの歴史 ( 2 ) SFアニメの世界
10. 戦後アニメの歴史 ( 3 ) アニメ映画の世界
11. アニメと表象 ( 1 ) ハイブリディティの視点から
12. アニメと表象 ( 2 ) テクノロジーの視点から
13. アニメとその製作現場 特別講師の授業
14. 「クール・ジャパン」現象を再検討する
15. まとめ

特別講師の講義日程によって、順番については多少の変更があります。

#### 評価

授業への参加意欲25%、授業ごとに提出するミニレポート25%、学期末テスト50%を総合して評価する。

#### 授業外学習

【事前予習】教科書の指定された場所を読んでおくこと

【事後学修】授業で配布された資料などをノートにまとめておくこと

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書

津堅信之・アニメーション学入門・平凡社新書

推薦書

大塚英志 + ササキバラゴウ・教養としての まんが・アニメ

米沢嘉博・戦後少女マンガ史 ・ちくま文庫

その他、必要に応じて、授業の中でテキストとプリントを配布します。

科目名	メディア文化論		
担当教員名	田中 東子		
ナンバリング	KJd126		
学 科	人間生活学部 (K) - メディアコミュニケーション学科 (KJ)		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

本講義では、「メディア」というものが社会においてどのような文化的基盤として機能しているのかを考えていく。書籍、ラジオ、テレビ、インターネットといったさまざまな媒体の形をとりながら、メディアは私たちの社会において「文化」、「コミュニケーション」、「ネットワーク」、「コミュニティ」などのさまざまな機能を果たしている。本講義では、伊藤守編『よくわかるメディア・スタディーズ』を教科書としながら「メディア文化」について広く学んでいく。受講者それぞれが、教科書のなかから関心のある項目を選んで発表し、その内容について受講者全員で討論し、毎回、ミニレポートを作成してもらう。

#### 内容

1. メディア文化論とはなにか？
2. メディアの物質性と歴史性
3. 文字メディアの誕生
4. 音声メディアの誕生
5. 映像メディアの誕生
6. インターネットとウェブ
7. メディア社会の構造
8. メディア産業とその特徴
9. メディア文化のグローバル化
10. メディアの表象 ( 1 ) 人種
11. メディアの表象 ( 2 ) ジェンダー
12. メディアの表象 ( 3 ) 若者
13. メディア文化と都市空間
14. メディアの政治経済学
15. まとめ

#### 評価

授業への参加意欲25%、授業ごとに提出するミニレポート25%、学期末テスト50%で総合して評価する。

#### 授業外学習

- 【事前予習】教科書の指定された範囲を読んでおくこと
- 【事後学修】授業の内容を踏まえて具体的な事例について考察してみること

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

##### 教科書

伊藤守・よくわかるメディア・スタディーズ・ミネルヴァ書房

その他、必要な教材については授業内で適宜、説明します。

科目名	音楽表現論		
担当教員名	棚谷 祐一		
ナンバリング	KJd127		
学 科	人間生活学部 (K) - メディアコミュニケーション学科 (KJ)		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

私たちにとって最も身近な音楽である「ポピュラー音楽」。しかしインターネットの急速な発展と普及によって音楽産業は大きな影響を受けており、著作権法等の法整備も状況に追い付いていないのが現状である。また、日本の音楽文化はいわゆる「ガラパゴス化」によって閉塞的状况を呈し、海外の音楽の動向から乖離したものとなっている。これらの問題に対して音楽をめぐる状況を総合的、体系的に分析し、どうすればいいのかについて考える。

#### 科目の概要

日本の音楽産業の仕組みと歴史、現状と問題点。音楽著作権と著作権ビジネスについて。公共財としての音楽について考える。ロックを中心にしたポピュラー音楽の歴史。音楽とテクノロジー。Jポップのヒット曲分析、等々。

#### 学修目標 (= 到達目標)

音楽などの文化が、経済、社会、テクノロジーとどのように関係しているのかを理解し、メディアリテラシーの向上をはかる。

#### 内容

進度については、受講生の理解度に応じて柔軟に運用することがあります。

1	ガイダンス
2	日本の音楽産業の現状と問題点
3	日本の音楽産業の構造
4	音楽のデジタル化
5	日本における音楽ビジネスの歴史
6	音楽著作権と音楽ビジネス
7	公共財としての音楽？
8	ロックとポピュラー音楽の歴史(1)
9	ロックとポピュラー音楽の歴史(2)
10	ロックとポピュラー音楽の歴史(3)
11	音楽とテクノロジー(1)
12	音楽とテクノロジー(2)
13	日本のポピュラー音楽の世界進出の可能性について
14	2000年代の日本のヒットソングの楽曲分析
15	まとめ

## 評価

授業への参加度60%、レポート40%とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前準備】次回授業の該当項目について下調べをし、疑問点を箇条書きで列挙する。

【事後学修】不明な用語等について調べ、明らかにする。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】使用しない

【推薦書】ポピュラー音楽の社会経済学 高増 明 著 ナカニシヤ出版

【参考図書】随時紹介

科目名	サブカルチャー論		
担当教員名	田中 東子		
ナンバリング	KJd229		
学 科	人間生活学部 (K) - メディアコミュニケーション学科 (KJ)		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

本講義では、既存の社会学や政治学や文化論を批判することによって一九七〇年代以降イギリスで発展してきた「カルチュラル・スタディーズ」の理論と分析の基礎を学びながら、現代文化としてのサブカルチャーについて検討していく。対象とするのは、ヒップホップやR & Bなど (音楽)、ファッション、ライトノベルやウェブ小説など (文学)、お笑いや韓流ドラマなど (テレビ番組)、W杯やオリンピックなど (スポーツ)、携帯電話やSNSなど (インターネット) といったさまざまなサブカルチャー領域であり、これらの具体的な現象を丹念に調査・観察することを通じて、現代社会における文化の機能と役割、私たちの生活において文化が持っている意義などを探っていく。前半は理論について講義と文献輪読をし、後半は、グループに分かれてフィールドワークを行います。

#### 内容

1. サブカルチャー論とはなにか?
2. サブカルチャーを分析するための理論 (1) 世界のサブカルチャー
3. サブカルチャーを分析するための理論 (2) 日本のサブカルチャー
4. サブカルチャーを分析するための理論 (3) スタイルと実践
5. サブカルチャーを分析するための理論 (4) プリコラージュとDIY精神
6. サブカルチャーを分析するための理論 (5) 人種とジェンダー
7. サブカルチャー調査のための計画を立てる (1)
8. サブカルチャー調査のための計画を立てる (2)
9. サブカルチャーの調査と観察 (1)
10. サブカルチャーの調査と観察 (2)
11. サブカルチャーの調査と観察 (3)
12. サブカルチャーの調査と観察 (4)
13. サブカルチャーの調査と観察 (5)
14. 合同研究発表会
15. まとめ

#### 評価

授業への参加意欲25%、授業ごとに提出するミニレポート25%、学期末テスト50%で総合して評価する。

#### 授業外学習

- 【事前予習】調査のプラント準備
- 【事後学修】集めてきた資料やインタビューの整理

#### 教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

教科書

佐藤郁哉・フィールドワーク〔増補版〕・新曜社

その他、必要な文献については授業内で適宜、説明する予定です。

科目名	映像表現論		
担当教員名	川瀬 基寛		
ナンバリング	Kjd230		
学 科	人間生活学部 (K) - メディアコミュニケーション学科 (KJ)		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

実際に作品を鑑賞し視点を変えることで、映像メディアに関する技術・表現を学習し、今後の映像作品制作に活かしていきます。

#### 科目の概要

映像メディアの原理や映像技術の発達について学び、映画の文法や手法、映像表現の特徴や可能性を探求します。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

日本ならびに諸外国における様々な映像作品 ( 映画・ドキュメンタリー・ミュージックビデオ・ビデオアート・CG・アニメーション・テレビニュース映像など ) の鑑賞を通じて映像リテラシーを高め理解力を養います。

#### 内容

1	イントロダクション：映像とは何か？、技術的な側面から
2	映画の誕生：リュミエールの映画と列車、メリエスの映画とアトラクション
3	映画技法 ( 1 ) フォトグラフィ：リアリズムとフォーマリズム、ドキュメンタリー
4	映画技法 ( 2 ) ミザンセヌ：ショット、アングル、フレーム
5	映画技法 ( 3 ) ミザンセヌ：構図とデザイン、支配的映像と空間
6	映画技法 ( 4 ) ミザンセヌ：俳優撮影の基本位置、空間論的配置
7	映画技法 ( 5 ) 編集：コンティニューイティ、グリフィスと古典的編集
8	映画技法 ( 6 ) 編集：ソビエト・モンタージュ、物語学、古典的パラダイム
9	映像表現 ( 1 ) ミュージックビデオの世界 ( 日本 )
10	映像表現 ( 2 ) ミュージックビデオの世界 ( 外国 )
11	映像表現 ( 3 ) ビデオアート・実験映像・CGの世界
12	映像表現 ( 4 ) 映画とタイトルバック、ソウル・パスのデザイン
13	映像表現 ( 5 ) アニメとアートアニメーション、ユーロ・アニメーションの世界
14	映像表現 ( 6 ) アート系映画とデザイン、宗教映画と宗教美学
15	映像表現 ( 7 ) 動画投稿サイトとMAD動画、テレビ視聴の変化と傾向、まとめ

#### 評価

期末レポートまたは試験 ( 55点 )、毎時限のコメントシート ( 30点 )、受講参加度 ( 15点 ) の合計100点満点で採点し、60点以上を合格とします。

#### 授業外学習

【事前予習】次回の関連事項を確認し、学習すべき内容を確認しておくこと。

【事後学修】資料を良く読み復習することで、学習した内容をしっかり身につける。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

必要に応じてプリントを配布します。

科目名	メディアデザイン		
担当教員名	川瀬 基寛		
ナンバリング	KJe137		
学 科	人間生活学部 (K) - メディアコミュニケーション学科 (KJ)		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

グラフィックソフトウェアの基礎およびグラフィックデザインでの活用方法の基礎を学びます。

コンピュータによるグラフィックス技術は、印刷・出版業界だけでなくあらゆるデザイン分野で活用されており必要不可欠なものとなっています。2次元でのデジタル画像の加工・編集について学び、グラフィックソフトウェアの基礎を習得します。基礎作品制作、チームで印刷媒体の制作を行い、グラフィックデザインのワークフローの基礎を学習します。

ラスター画像とベクトル画像の差異と特徴について学び、それぞれ目的に合致したソフトウェアとプロファイルを選択でき、目的に合致した作成手法やグラフィックデザイン技術の基礎を習得することを目標とします。

## 内容

毎時間、課題があり新しいことを学習していきますので、欠席しないようにしてください。

基本的に資料に頼らないで授業を進めますので、欠席すると付いていけません。

データを保存するUSBメモリ、アイデア用のスケッチブックを毎時間準備してください。

1	ガイダンス、2次元CGの基礎
2	Photoshop基礎 (ビットマップ画像、ピクセルと解像度、基本操作)
3	Photoshop基礎 (レイヤー、ペイント、移動)
4	Photoshop基礎 (色調補正、調整レイヤー、レタッチツール)
5	Photoshop基礎 (マーキーツール、切り抜き、マスク)
6	画像合成作品の制作 (テーマあり)
7	Illustrator基礎 (ベクター画像、プロファイル、アートボード、定規とガイド、基本操作)
8	Illustrator基礎 (図解描画、線描画 (オープンパスとクローズパス)、ベジェ曲線)
9	Illustrator基礎 (オブジェクト、パス調整、色調整)
10	Illustrator基礎 (文字ツール、パスファインダ)、基礎作品制作 (ネームカード)
11	Illustrator基礎 (画像配置、クリッピングマスク) 基礎作品制作 (ポストカード)
12	グラフィックデザイン基礎 (企画・構図・レイアウト・コピー)
13	グラフィックデザイン基礎 (ペアによる制作、テーマあり)
14	グラフィックデザイン基礎 (制作のつづき)
15	まとめ (作品発表・講評)

## 評価

制作作品・課題(80%)、受講態度(20%)などで総合的に判断し、60点以上を合格とします。

スケッチブック (企画、アイデア等) および作品が未提出の場合は評価しません。

## 授業外学習

【事前予習】配布資料をよく読み、演習用データを確認しておくこと。

【事後学修】配布資料や演習用データを使用して練習課題に取り組むことにより、学習した内容をしっかり身につける。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

必要に応じてプリントやPDFファイル、演習用データを配布します。

科目名	メディアデザイン		
担当教員名	加藤 亮介		
ナンバリング	KJe137		
学 科	人間生活学部 (K) - メディアコミュニケーション学科 (KJ)		
学 年	1	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

本科目は、メディアコミュニケーション学科専門選択科目である。コンピュータソフトを使用した、創作活動に関心がある学生向けである。

#### 科目の概要

各個人がコンピュータでアプリケーションを操作しながら、画像編集・加工ソフトであるAdobe「Photoshop」や「Illustrator」の操作方法を具体的に学んでいく。

他の演習系授業とも連携しつつ、Webデザイン、紙のデザイン、アニメーション等、各個人の今後の創作活動に有用な基礎を養っていく。

#### 学修目標

- ・「Photoshop」や「Illustrator」の基本操作ができる。
- ・「Photoshop」や「Illustrator」の活動場面を理解し、紙媒体やデジタル媒体を対象としたデザインを自分なりに創作できる。

履修者数等の都合により一部内容を変更する場合がある。

内容	
1	オリエンテーション
2	画像編集 (Photoshop) と画像描画 (Illustrator) の基本について
3	画像の編集 加工の基礎
4	画像の編集 合成の基礎
5	画像の編集 色調の基礎
6	--第一回 課題の制作--
7	画像の編集 レイヤーを利用した複合的編集
8	画像の編集 マスク等を利用した応用的編集
9	--第二回 課題の制作--
10	画像の描画 名刺
11	画像の描画 ポスター
12	画像の描画 エディトリアルデザイン
13	--最終課題の制作--
14	--最終課題の制作--
15	まとめ

## 評価

授業への参画、課題の取り組み状況などの平常点40%、課題の評価点60%で評価する。

## 授業外学習

【事前予習】各々、演習室にてAdobe「Photoshop」の操作にトライしておくことが望ましい。

【事後学修】基本、紙の教材は仕様しない。前回までの内容を復習した状態で授業に参加することが望ましい。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

オリエンテーション時に指示する。

科目名	Webデザイン論		
担当教員名	北原 俊一		
ナンバリング	KJe138		
学 科	人間生活学部 (K) - メディアコミュニケーション学科 (KJ)		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

メディアコミュニケーション学科専門科目のメディアデザインの科目群の科目である。Webデザインに必要な知識を身につける。

#### 科目の概要

Webデザインに関する基礎的な事項を学習する。検定の問題を利用し、問題演習をこなしながら、知識の定着を図る。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

インターネットとWebページのしくみがわかる

情報の収集、組織化からサイトの設計ができる

HTMLとCSSのしくみを理解し、ページのデザインを考えることができる

デジタルデータの特徴や情報モラルについて理解している

#### 内容

1	インターネットとWebのしくみ
2	Webサイトのコンセプト、情報の収集と組織化
3	情報の構造化と情報へのアクセス
4	Webページの画面構成と素材
5	Webページのテストと修正、メンテナンス
6	HTMLとCSS
7	HTML文書の要素について
8	フォーム
9	CSSレイアウトについて
10	JavaScript, HTML5, CSS3
11	デジタルデータとアナログデータ
12	ソフトウェア
13	入出力装置
14	セキュリティと情報モラル
15	まとめ

#### 評価

毎時間の提出物70%、授業の参加度を30%とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前準備】テキストを読み不明な点をチェックしておく

【事後学修】問題演習で間違えたものについてもう一度テキストを参照して復習しておく

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】入門Webデザイン,CG-ARTS協会

【推薦書】Webデザイナー検定公式問題集,CG-ARTS協会

科目名	サウンドデザイン基礎		
担当教員名			
ナンバリング	KJe139		
学 科	人間生活学部 (K) - メディアコミュニケーション学科 (KJ)		
学 年		ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格... コンピュータを使った音楽制作、音声の編集などを実習形式で学びます。

近年、自宅あるいはオフィスで音楽 ( 音声 ) コンテンツを作り、発信するということがもはや決して特別なことではなくなり、それらのコンテンツや音楽ファイルの適切な取扱いができることは社会人として重要なスキルのひとつとなっています。このクラスではDTMソフトの定番、Cubase ( キューベース ) ファミリーの入門版であるCubase Elements 6を導入し、最新のDAW ( デジタル・オーディオ・ワークステーション ) の世界を体験的に学習します。

科目の概要... 1. DTM ( デスクトップ・ミュージック ) = コンピュータを使用した音楽制作の基礎を実習的に学ぶ。2. このコンピュータミュージック ではMIDIという規格をつかった音楽制作を中心に学ぶ。MIDI オーディオサンプルデータの利用 オーディオミックスファイルの制作 オーディオCD制作という手順でDTMの基礎を身につける。

学修目標 ( = 到達目標 ) ... 1. MIDI制作 規制楽曲の楽譜をもとにMIDI 入力をつかった音楽制作の実習 2. MIDI入力したデータをオーディオに変換。オーディオミックスダウンの実習 3. オーディオループを利用してサンプルの組み合わせによる音楽制作を学ぶ。 4. MIDI入力、オーディオループに加えてオリジナルメロディを加えることでオリジナル音楽作品制作

#### 内容

- 第1回 ガイダンス スタートアップ
- 第2回 新規プロジェクトの作成 プロジェクトおよびファイルの管理
- 第3回 コピーとペースト 削除と「元に戻す」
- 第4回 基本的操作の確認 テンポと拍子の設定 トランスポーズ
- 第5回 ドラムセットの入力
- 第6回 スコア課題(1)MIDI入力
- 第7回 スコア課題(2)MIDI入力
- 第8回 スコア課題(3)MIDI入力 強弱表現について
- 第9回 MIDIデータのオーディオ化 ミックスダウン
- 第10回 オーディオループ素材を活用したトラック制作
- 第11回 創作課題(1)MIDI入力
- 第12回 創作課題(2)MIDI入力 リズムトラック制作
- 第13回 創作課題(3)メロディパートの創作
- 第14回 ミックスダウン オーディオCD作成 試聴
- 第15回 まとめ

一見難しそうに思われるかもしれませんが皆さん楽しみながらクリアしています。しっかりとガイドしますので安心して参加して下さい。ピアノ、電子オルガンなどの楽器経験がなくても大丈夫です。

#### 評価

提出作品の評価40% 授業への参加度60%..... とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】授業用サイトの該当箇所を読み、用語などについて下調べをする。

【事後学修】課題のMIDI入力など、授業外の時間を活用して仕上げる。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】教科書は使用せず、授業用に設けられたサイトを活用する。

【推薦書】Cubase6 Series 徹底操作ガイド (THE BEST REFERENCE BOOKS EXTREME) 藤本健 著 リットーミュージック

【参考図書】随時紹介

科目名	サウンドデザイン基礎		
担当教員名	棚谷 祐一		
ナンバリング	KJe139		
学 科	人間生活学部 (K) - メディアコミュニケーション学科 (KJ)		
学 年	1	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格... コンピュータを使った音楽制作、音声の編集などを実習形式で学びます。

近年、自宅あるいはオフィスで音楽 ( 音声 ) コンテンツを作り、発信するということがもはや決して特別なことではなくなり、それらのコンテンツや音楽ファイルの適切な取扱いができることは社会人として重要なスキルのひとつとなっています。このクラスではDTMソフトの定番、Cubase ( キューベース ) ファミリーの入門版であるCubase Elements 6を導入し、最新のDAW ( デジタル・オーディオ・ワークステーション ) の世界を体験的に学習します。

科目の概要... 1. DTM ( デスクトップ・ミュージック ) = コンピュータを使用した音楽制作の基礎を実習的に学ぶ。2. このコンピュータミュージック ではMIDIという規格をつかった音楽制作を中心に学ぶ。MIDI オーディオサンプルデータの利用 オーディオミックスファイルの制作 オーディオCD制作という手順でDTMの基礎を身につける。

学修目標 ( = 到達目標 ) ... 1. MIDI制作 規制楽曲の楽譜をもとにMIDI 入力をつかった音楽制作の実習 2. MIDI入力したデータをオーディオに変換。オーディオミックスダウンの実習 3. オーディオループを利用してサンプルの組み合わせによる音楽制作を学ぶ。 4. MIDI入力、オーディオループに加えてオリジナルメロディを加えることでオリジナル音楽作品制作

#### 内容

- 第1回 ガイダンス スタートアップ
- 第2回 新規プロジェクトの作成 プロジェクトおよびファイルの管理
- 第3回 コピーとペースト 削除と「元に戻す」
- 第4回 基本的操作の確認 テンポと拍子の設定 トランスポーズ
- 第5回 ドラムセットの入力
- 第6回 スコア課題(1)MIDI入力
- 第7回 スコア課題(2)MIDI入力
- 第8回 スコア課題(3)MIDI入力 強弱表現について
- 第9回 MIDIデータのオーディオ化 ミックスダウン
- 第10回 オーディオループ素材を活用したトラック制作
- 第11回 創作課題(1)MIDI入力
- 第12回 創作課題(2)MIDI入力 リズムトラック制作
- 第13回 創作課題(3)メロディパートの創作
- 第14回 ミックスダウン オーディオCD作成 試聴
- 第15回 まとめ

一見難しそうに思われるかもしれませんが皆さん楽しみながらクリアしています。しっかりとガイドしますので安心して参加して下さい。ピアノ、電子オルガンなどの楽器経験がなくても大丈夫です。

#### 評価

提出作品の評価40% 授業への参加度60%..... とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】授業用サイトの該当箇所を読み、用語などについて下調べをする。

【事後学修】課題のMIDI入力など、授業外の時間を活用して仕上げる。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】教科書は使用せず、授業用に設けられたサイトを活用する。

【推薦書】Cubase6 Series 徹底操作ガイド (THE BEST REFERENCE BOOKS EXTREME) 藤本健 著 リットーミュージック

【参考図書】随時紹介

科目名	サウンドデザイン基礎		
担当教員名	棚谷 祐一		
ナンバリング	KJe139		
学 科	人間生活学部 (K) - メディアコミュニケーション学科 (KJ)		
学 年	1	ク ラ ス	1Cクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格... コンピュータを使った音楽制作、音声の編集などを実習形式で学びます。

近年、自宅あるいはオフィスで音楽 ( 音声 ) コンテンツを作り、発信するということがもはや決して特別なことではなくなり、それらのコンテンツや音楽ファイルの適切な取扱いができることは社会人として重要なスキルのひとつとなっています。このクラスではDTMソフトの定番、Cubase ( キューベース ) ファミリーの入門版であるCubase Elements 6を導入し、最新のDAW ( デジタル・オーディオ・ワークステーション ) の世界を体験的に学習します。

科目の概要... 1. DTM ( デスクトップ・ミュージック ) = コンピュータを使用した音楽制作の基礎を実習的に学ぶ。2. このコンピュータミュージック ではMIDIという規格をつかった音楽制作を中心に学ぶ。MIDI オーディオサンプルデータの利用 オーディオミックスファイルの制作 オーディオCD制作という手順でDTMの基礎を身につける。

学修目標 ( = 到達目標 ) ... 1. MIDI制作 規制楽曲の楽譜をもとにMIDI 入力をつかった音楽制作の実習 2. MIDI入力したデータをオーディオに変換。オーディオミックスダウンの実習 3. オーディオループを利用してサンプルの組み合わせによる音楽制作を学ぶ。 4. MIDI入力、オーディオループに加えてオリジナルメロディを加えることでオリジナル音楽作品制作

#### 内容

- 第1回 ガイダンス スタートアップ
- 第2回 新規プロジェクトの作成 プロジェクトおよびファイルの管理
- 第3回 コピーとペースト 削除と「元に戻す」
- 第4回 基本的操作の確認 テンポと拍子の設定 トランスポーズ
- 第5回 ドラムセットの入力
- 第6回 スコア課題(1)MIDI入力
- 第7回 スコア課題(2)MIDI入力
- 第8回 スコア課題(3)MIDI入力 強弱表現について
- 第9回 MIDIデータのオーディオ化 ミックスダウン
- 第10回 オーディオループ素材を活用したトラック制作
- 第11回 創作課題(1)MIDI入力
- 第12回 創作課題(2)MIDI入力 リズムトラック制作
- 第13回 創作課題(3)メロディパートの創作
- 第14回 ミックスダウン オーディオCD作成 試聴
- 第15回 まとめ

一見難しそうに思われるかもしれませんが皆さん楽しみながらクリアしています。しっかりとガイドしますので安心して参加して下さい。ピアノ、電子オルガンなどの楽器経験がなくても大丈夫です。

#### 評価

提出作品の評価40% 授業への参加度60%..... とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】授業用サイトの該当箇所を読み、用語などについて下調べをする。

【事後学修】課題のMIDI入力など、授業外の時間を活用して仕上げる。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】教科書は使用せず、授業用に設けられたサイトを活用する。

【推薦書】Cubase6 Series 徹底操作ガイド (THE BEST REFERENCE BOOKS EXTREME) 藤本健 著 リットーミュージック

【参考図書】随時紹介

科目名	写真技術		
担当教員名	谷口 京		
ナンバリング	KJe140		
学 科	人間生活学部 (K) - メディアコミュニケーション学科 (KJ)		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格

メディアコミュニケーションの学習、ならびに実社会で役立つ写真技術の修得を目指します

科目の概要

一眼レフカメラ操作を中心に、関連機材の使用方法、撮影技術、ライティング、デジタルにおけるフォトタッチの基礎を学習し、取材や作品制作を行なえる実践力を習得する。

テーマを設定したワークショップとディスカッション。

「よい写真」「ひとの心を動かす写真」とは何かを考え、自由な発想で実践する授業。

広告・雑誌・ウェブ・TVなど様々なメディアで活動するプロフェッショナルによる講義。

学修目標 (=到達目標)

撮影機材操作、ライティング、画像処理の基礎を身につける。

写真の役割を理解する。

テーマ立案、プレゼンテーション、一定の質を持つ写真作品の制作を行なえる。

写真表現を通じ、物事の本質を理解する「洞察力」「感性」「美意識」を育む。

内容

1	オリエンテーション
2	伝えるための写真の考察：カメラのしくみ、写真表現の歴史と役割
3	撮影機材の基本操作
4	構図と露出
5	伝えるための写真の考察：ひとつのテーマをどのように表現するかとの考察とディスカッション
6	ポートレート：スタジオ撮影・ライティングの基本
7	ポートレート：ロケーション撮影・「背景の選び方」「光を読む」
8	写真編集基礎：写真の選び方とデータ管理
9	写真編集基礎：画像処理と出力のワークフロー
10	伝えるための写真の考察：「写真と言葉」について考察とディスカッション
11	静物撮影：形と質感の表現
12	空間撮影：空間の表現・ヒューマンアイとカメラアイ
13	雑誌編集者とのコラボレーション講義：「よい写真とは」考察とディスカッション
14	ファッションモデルとのコラボレーション実習
15	まとめ 課題提出

評価

授業への参加と取り組み姿勢60%、課題の質40%とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前準備】日常で目にするあらゆる写真に、意識的に関心をよせること。

【事後学修】授業で学んだことを考察し、実践すること。写真のみならず美術・音楽・文芸・工芸・映像・建築など様々な表現に触れ、知識と感性を磨くこと。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】都度、プリント等を配布します。

【推薦書】必要に応じ、授業内で紹介します。

【参考図書】必要に応じ、授業内で紹介します

科目名	雑誌・書籍論		
担当教員名	飯田 日出男		
ナンバリング	KJe241		
学 科	人間生活学部 (K) - メディアコミュニケーション学科 (KJ)		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

出版活動の中核をなす書籍出版、雑誌出版の現状と未来を、制作現場の具体的な仕事や実例を通して学ぶことで、業界をより具体的に把握・理解する。

#### 科目の概要

出版界の現状を大づかみすると同時に、とりわけ編集者の仕事について理解を深める。その一助として書籍や雑誌の模擬企画を立案、講評。ゲスト講師（現役編集者）の体験談を聞く機会を提供する。

#### 学修目標 (= 到達目標)

出版社などメディアにかかわる就職を希望する学生が業界やその仕事を理解できるようにする。さらに具体例を通して学ぶことでモチベーションのアップをはかる。

内容	
1	ガイダンス ( 出版界の現状 )
2	出版社の仕組み
3	私の書籍論
4	書籍はこうしてつくられる ( 課題「書籍の企画を立ててみよう！」 )
5	書籍編集の現場から ( ゲスト講師との対談 )
6	課題「書籍企画」の講評
7	私の雑誌論
8	雑誌はこうしてつくられる ( 課題「雑誌の企画を立ててみよう！」 )
9	雑誌編集の現場から ( ゲスト講師との対談 )
10	課題「雑誌企画」の講評
11	編集者とはなにか
12	出版に携わる様々な仕事
13	電子書籍の課題と問題点 ( 著作権と著作隣接権 )
14	出版界はこれからどうなる
15	まとめ

#### 評価

授業への取り組み70点、課題提出30点の計100点で、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前準備】提示する課題の予習を行う。

【事後学修】学んだテーマを掘り下げさせる。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】

【推薦書】

【参考図書】

科目名	Webデザイン基礎		
担当教員名	北原 俊一		
ナンバリング	KJe242		
学 科	人間生活学部 (K) - メディアコミュニケーション学科 (KJ)		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

専門選択科目メディアデザインの科目群のひとつである。情報発信の手段としてWebページによる表現力を身に着ける。

#### 科目の概要

Webページを自分でデザインし、それを実現する能力を養う。HTML言語とスタイルシートを自分で書くことにより、その仕組みを理解する。JIS規格を考慮した、人にやさしく、多くの人にとって使いやすいWebページをめざす。

#### 学修目標 (= 到達目標)

1. ホームページの仕組みを理解する。
2. HTMLとスタイルシートを使って、Webページのデザインができる。
3. JIS規格を考慮した、人にやさしく、多くの人にとって使いやすいWebページができる

#### 内容

1	HTMLの基本のおさらいと授業の進め方について
2	配色に関する基本的な考え方
3	Webページの配色の実習
4	段落の書き方
5	マージンとパディング
6	図と文章の回り込み
7	ナビゲーションの作成
8	1段組レイアウト
9	2段・3段組レイアウト
10	z-indexを使用した自由なレイアウト
11	表(table)の利用
12	ID・Classを使った統一的なデザイン
13	自由課題作成
14	自由課題作成
15	自由課題の相互評価, 課題に関する振り返りとまとめ

#### 評価

授業への参加度20%、毎回の授業時の提出課題60%、および最終課題への取り組み20%とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】ネットワークフォルダに置かれている解説を読み、難解な部分をチェックしておく

【事後学修】提出課題と学習内容を再度見直し、疑問点を解消しておく。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】教科書は使用せず，学内ネットワーク上に解説と課題を置く

【推薦書】日本工業規格、JIS X 8341-3

【参考図書】教室で紹介する

科目名	サウンドデザイン応用		
担当教員名	棚谷 祐一		
ナンバリング	KJe239		
学 科	人間生活学部 (K) - メディアコミュニケーション学科 (KJ)		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

「サウンドデザイン基礎」を履修済みであることを前提に、DAWのより発展的な技法を学ぶ。

#### 科目の概要

1. MIDIのより発展的な表現 ( 強弱、タイミング、アーティキュレーション等 )
2. 音声合成ソフトの基礎技法
3. より多彩なエフェクターを活用したミキシングの技法
4. フリーの動画素材に対してオーディオループ素材を活用した映像音楽 ( BGM ) を作成
5. マイクフォンを使ってナレーションの録音、編集実習 オリジナルBGMと合成してポッドキャストを作成 プレゼンテーション

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

「サウンドデザイン基礎」の内容をより発展的に学ぶ。また、制作物をWeb上で共有・配信するなど、情報発信の基礎力を高める。

#### 内容

なお、進度については受講生の理解度や進捗状況に応じて柔軟に対応することがあります。

1	ガイダンス、スタートアップ
2	スコア課題(1)MIDI入力～発音の強弱と連続的な強弱表現
3	スコア課題(2)MIDI入力～タイミングによる表現、アーティキュレーション
4	スコア課題(3)MIDI入力～サスティンペダル、ピッチベンド
5	ミキシング～エフェクターの活用 ( 応用編1 )
6	音声合成ソフト(1)概念と基礎的な操作法
7	音声合成ソフト(2)スコア入力
8	音声合成ソフト(3)スコア入力
9	ミキシング～エフェクターの活用 ( 応用編2 )
10	映像と音楽(1)映像付随音楽の研究
11	映像と音楽(2)オーディオループ素材の活用
12	映像と音楽(3)ナレーションの録音、編集
13	映像と音楽(4)ミキシング～映像と音楽の合成
14	ビデオキャスト配信～プレゼンテーション

## 評価

授業への参加度60%、提出物40%とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前準備】授業用サイトの該当箇所を読み、用語などについて下調べをする。

【事後学修】課題のMIDI入力など、授業外の時間を活用して仕上げる。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】教科書は使用せず、授業用サイトを活用する。

【推薦書】Cubase6 Series 徹底操作ガイド (THE BEST REFERENCE BOOKS EXTREME) 藤本健 著 リットーミュージック

【参考図書】随時紹介

科目名	サウンドデザイン応用		
担当教員名	棚谷 祐一		
ナンバリング	KJe239		
学 科	人間生活学部 (K) - メディアコミュニケーション学科 (KJ)		
学 年	1	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

「サウンドデザイン基礎」を履修済みであることを前提に、DAWのより発展的な技法を学ぶ。

#### 科目の概要

1. MIDIのより発展的な表現 ( 強弱、タイミング、アーティキュレーション等 )
2. 音声合成ソフトの基礎技法
3. より多彩なエフェクターを活用したミキシングの技法
4. フリーの動画素材に対してオーディオループ素材を活用した映像音楽 ( BGM ) を作成
5. マイクロフォンを使ってナレーションの録音、編集実習 オリジナルBGMと合成してポッドキャストを作成 プレゼンテーション

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

「サウンドデザイン基礎」の内容をより発展的に学ぶ。また、制作物をWeb上で共有・配信するなど、情報発信の基礎力を高める。

#### 内容

なお、進度については受講生の理解度や進捗状況に応じて柔軟に対応することがあります。

1	ガイダンス、スタートアップ
2	スコア課題(1)MIDI入力～発音の強弱と連続的な強弱表現
3	スコア課題(2)MIDI入力～タイミングによる表現、アーティキュレーション
4	スコア課題(3)MIDI入力～サスティンペダル、ピッチベンド
5	ミキシング～エフェクターの活用 ( 応用編1 )
6	音声合成ソフト(1)概念と基礎的な操作法
7	音声合成ソフト(2)スコア入力
8	音声合成ソフト(3)スコア入力
9	ミキシング～エフェクターの活用 ( 応用編2 )
10	映像と音楽(1)映像付随音楽の研究
11	映像と音楽(2)オーディオループ素材の活用
12	映像と音楽(3)ナレーションの録音、編集
13	映像と音楽(4)ミキシング～映像と音楽の合成
14	ビデオキャスト配信～プレゼンテーション

## 評価

授業への参加度60%、提出物40%とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前準備】授業用サイトの該当箇所を読み、用語などについて下調べをする。

【事後学修】課題のMIDI入力など、授業外の時間を活用して仕上げる。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】教科書は使用せず、授業用サイトを活用する。

【推薦書】Cubase6 Series 徹底操作ガイド (THE BEST REFERENCE BOOKS EXTREME) 藤本健 著 リットーミュージック

【参考図書】随時紹介

科目名	メディアデザイン		
担当教員名	木継 則幸		
ナンバリング	KJe237		
学 科	人間生活学部 (K) - メディアコミュニケーション学科 (KJ)		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

InDesignを使った実習を通じ、DTP及びエディトリアルデザインの基礎を学ぶ。グラフィックデザイン、エディトリアルデザイン、編集志望者を対象とする。

#### 科目の概要

エディトリアルデザインとは、文字と画像を用いて、世界観、時間軸、メッセージ性、ユーザビリティ等の多様な観点から情報伝達を図る、総合的な視覚表現である。

本科目では、観察、発想、設計、評価のプロセスを通じ、アプリケーションの基本操作法と、デザインの基礎となる考え方を身につける。

#### 学修目標 (= 到達目標)

エディトリアルデザインの基礎的な理解とスキルを習得。雑誌制作、新聞制作など実践的なエディトリアルデザインの実習過程に進むためのベースとなる。

## 内容

### 1週

#### オリエンテーション

授業の説明、エディトリアルデザインの概要、インデザインの概要、事例紹介

### 2-6週

#### 基礎演習1 (パターン制作)

制作のワークフロー、インデザインの基本操作、ドキュメント作成、レイアウトの基本、カラー設定、テキストの基本設定、画像配置、プレゼンテーション

### 7-10週

#### 基礎演習2 (フライヤー)

タイポグラフィ、情報設計、ユーザビリティ、レイアウトバランス、プレゼンテーション

### 11-14週

#### 基礎演習3 (書籍、雑誌)

ページの基本操作、各種応用操作、ビジュアル表現、プレゼンテーション・講評

### 15週

#### まとめ

## 評価

提出作品・課題（50点）、準備作業の内容・プレゼンテーション（20点）、授業中の姿勢（30点）などを総合的に判断 総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】良質なアウトプットのためには、日常における観察と発想が必要。

授業ではアウトプットとディスカッションに専念するため、実習のためのリサーチ、ラフ制作、レポート等の準備作業とそのプレゼンテーションを課す。

【事後学修】実習内容を身につけるための課題を課す。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

オリエンテーション時に指示

科目名	メディアデザイン		
担当教員名	木継 則幸		
ナンバリング	KJe237		
学 科	人間生活学部 (K) - メディアコミュニケーション学科 (KJ)		
学 年	1	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

InDesignを使った実習を通じ、DTP及びエディトリアルデザインの基礎を学ぶ。グラフィックデザイン、エディトリアルデザイン、編集志望者を対象とする。

#### 科目の概要

エディトリアルデザインとは、文字と画像を用いて、世界観、時間軸、メッセージ性、ユーザビリティ等の多様な観点から情報伝達を図る、総合的な視覚表現である。

本科目では、観察、発想、設計、評価のプロセスを通じ、アプリケーションの基本操作法と、デザインの基礎となる考え方を身につける。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

エディトリアルデザインの基礎的な理解とスキルを習得。雑誌制作、新聞制作など実践的なエディトリアルデザインの実習過程に進むためのベースとなる。

## 内容

### 1週

#### オリエンテーション

授業の説明、エディトリアルデザインの概要、インデザインの概要、事例紹介

### 2-6週

#### 基礎演習1 ( パターン制作 )

制作のワークフロー、インデザインの基本操作、ドキュメント作成、レイアウトの基本、カラー設定、テキストの基本設定、画像配置、プレゼンテーション

### 7-10週

#### 基礎演習2 ( フライヤー )

タイポグラフィ、情報設計、ユーザビリティ、レイアウトバランス、プレゼンテーション

### 11-14週

#### 基礎演習3 ( 書籍、雑誌 )

ページの基本操作、各種応用操作、ビジュアル表現、プレゼンテーション・講評

### 15週

#### まとめ

## 評価

提出作品・課題（50点）、準備作業の内容・プレゼンテーション（20点）、授業中の姿勢（30点）などを総合的に判断 総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】良質なアウトプットのためには、日常における観察と発想が必要。

授業ではアウトプットとディスカッションに専念するため、実習のためのリサーチ、ラフ制作、レポート等の準備作業とそのプレゼンテーションを課す。

【事後学修】実習内容を身につけるための課題を課す。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

オリエンテーション時に指示

科目名	メディアプロデュース論		
担当教員名	加藤 亮介		
ナンバリング	KJf147		
学 科	人間生活学部 (K) - メディアコミュニケーション学科 (KJ)		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

1. 単純な座学に加え、双方向(ディスカッション)を取り入れた授業とする。
2. 授業開始の一定時間は時事問題解説を行う等、リアルタイムな事象を積極的に扱う。
3. ドキュメンタリー、映画、等映像素材も積極的に利用する。

#### 科目の概要

授業の中で、下記の論点を消化しつつ、自分なりの「メディア活用」や「メディア発信」について検討していく。

1. メディア環境の中における立場認識
2. 意思決定とメディア・コミュニケーション
3. メディアにおける生産者の意図

#### 学修目標 (= 到達目標)

- ・ マスメディアからネットメディアまで、現代の多様化するメディア環境の中で「正しい意思決定」が行える能力を養う。
- ・ 自分なりの「メディア活用」や「メディア発信」を考えプロデュース視点を養う。

履修者数等の都合により一部内容を変更する場合がある。

内容	
1	ガイダンス
2	現代メディア雑感
3	環境の中における立場認識：メディアと意思決定
4	環境の中における立場認識：メディアと意思決定
5	演習回(番組鑑賞・ディスカッション等)
6	メディア・コミュニケーション：マスメディアの属性
7	メディア・コミュニケーション：ネットメディアの属性
8	演習回(番組鑑賞・ディスカッション等)
9	メディアの意図：マスメディア考察
10	メディアの意図：マスメディア考察
11	メディアの意図：ネットメディア考察
12	メディアの意図：ネットメディア考察
13	演習回(番組鑑賞・ディスカッション等)
14	振り返り
15	総括

#### 評価

参加態度(50%)・提出物・発表等のアウトプット(50%)で総合的に評価

授業外学習

ガイダンスで指示

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

ガイダンスで指示

科目名	映像制作基礎		
担当教員名	川瀬 基寛		
ナンバリング	KJf148		
学 科	人間生活学部 (K) - メディアコミュニケーション学科 (KJ)		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

映像制作のセオリーや手法を学習して基礎作品制作を行います。

#### 科目の概要

ビデオカメラによるカメラワーク、必要不可欠な映像編集ソフト ( Adobe Premiere ) の基本操作、編集技法 ( カットつなぎ、アクションつなぎなど ) を習得し、基本的な映像制作能力の獲得を目指します。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

- ・ ビデオカメラの操作方法の理解
- ・ 映像編集ソフト ( Adobe Premiere ) の基本操作の理解
- ・ 基本的な撮影アングルや編集技法の習得
- ・ 映像制作のワークフローの理解

#### 内容

毎時間、課題があり新しいことを学習していきますので、欠席しないようにしてください。

基本的に資料に頼らないで授業を進めますので、欠席すると付いていけません。

データを保存するUSBメモリ、アイデア用のスケッチブックを毎時間準備してください。

1	イントロダクション
2	映像編集の基礎 ( ワークフロー )
3	Premiereでの映像編集 1 ( 基本操作と素材取り込み )
4	Premiereでの映像編集 2 ( カット編集とトランジッション )
5	Premiereでの映像編集 3 ( タイトルとBGM )
6	Premiereでの映像編集 4 ( オーサリング )
7	ビデオカメラ基礎 1
8	ビデオカメラ基礎 2
9	基礎作品 制作 1 ( ペア )
10	基礎作品 制作 2
11	基礎作品 制作 3
12	基礎作品 制作 1 ( チーム )
13	基礎作品 制作 2
14	基礎作品 制作 3
15	まとめ、作品講評

## 評価

授業内課題（35点）、最終作品（50点）、授業参加度（15点）の合計100点満点で採点し、60点以上を合格とします。  
スケッチブック（企画、アイデア、絵コンテ等）および作品が未提出の場合は評価しません。

## 授業外学習

【事前予習】次回の関連事項を確認し、学習すべき内容を確認しておくこと。

【事後学修】資料を良く読み復習することで、学習した内容をしっかり身につける。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

必要に応じて資料を配布します。

科目名	コンテンツマーケティング論		
担当教員名	加藤 亮介		
ナンバリング	KJf249		
学 科	人間生活学部 (K) - メディアコミュニケーション学科 (KJ)		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

単純な座学のみではなく、部分的に反転授業(事前学習必須・授業内ディスカッション)を取り入れた授業とする。

#### 科目の概要

授業の中で、下記の論点を消化し、商業視点の立場から自分なりのマーケティングについて検討していく。1. マーケティング概論 2. メディアビジネスにおける"意図" 3. 広告ビジネスとプラットフォームビジネス

授業の連環上、前期「メディアプロデュース」を履修済みが好ましい。

#### 学修目標 (= 到達目標)

- ・ マスメディアからネットメディアまで、現代の多様化するメディア環境の中で「正しい意思決定」が行える能力を養う。
- ・ 自分なりの「コンテンツ制作」や「コンテンツマーケティング」が思考できるようになる。

履修者数等の都合により一部内容を変更する場合がある。

内容	
1	ガイダンス
2	マーケティング概論
3	マーケティング概論
4	メディアビジネスにおける"意図"
5	メディアビジネスにおける"意図"
6	メディアビジネスにおける"意図"
7	演習回(番組鑑賞・ディスカッション等)
8	広告ビジネスとプラットフォームビジネス
9	広告ビジネスとプラットフォームビジネス
10	広告ビジネスとプラットフォームビジネス
11	演習回(ディスカッション等)
12	演習回(ディスカッション等)
13	演習回(ディスカッション等)
14	演習回(ディスカッション等)
15	総括

#### 評価

参加態度(50%)・提出物・発表等のアウトプット(50%)で総合的に評価

## 授業外学習

上記の反転授業に該当する回は、前週に指定する少量のコンテンツ(動画・サイト・記事等)の消化が必須となる

## 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

ガイダンスで指示

科目名	広告制作		
担当教員名	木村 政司		
ナンバリング	KJf250		
学 科	人間生活学部 (K) - メディアコミュニケーション学科 (KJ)		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

企業イメージ、ブランドイメージ、メディア戦略を、益々変容する広告表現とその手法に学ぶことで、これからの人や社会に対してどんな価値を提供でき、影響を与えることができるのかを学ぶ。また、ここでは特にデザインのチカラが発想と思考、ライフコンセプトを他領域の知とセンスよく融合することによって提案できる可能性を掴む。

#### 科目の概要

今までの常識が覆される新しい時代の広告の役割、メディアの種類、コミュニケーションの基本戦略を理解し、広告表現とデザインの具体的な手法を視覚的に体験する。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

毎回配布される画像資料や解説シートを確認しながら講義を進行し、ノートを取り、リテラシーを深める。出題された課題を次の講義までに仕上げ、学習効果を確認していく。

1. 自らを知るためのデザインを体験する。
2. 広告の基礎と役割を理解する。
3. 表現手法としてのコミュニケーションデザインを理解する。
4. 知的、グッドセンス、お洒落をデザインすることで影響を与える。
5. 自分自身を戦略的にデザインする。

#### 内容

1	セルフプレゼンテーション 自分の未来をデザインする
2	広告にとってデザインは如何に機能しているのか？ 私の好きな広告デザイン
3	日本の広告デザインから学ぶ 広告を分類する
4	ヨーロッパの広告デザインから学ぶ 広告表現に基準と常識は存在しない！
5	ヨーロッパの広告デザインから学ぶ いい広告、わるい広告、つながる広告
6	ヨーロッパの広告デザインから学ぶ デザインの発想とメディアの役割
7	アメリカの広告デザインから学ぶ ヒットをつくるためのデザイン戦略
8	アメリカの広告デザインから学ぶ 言葉のチカラを掴む
9	ブランディング ブランドそのものの広告力から文化を創造する
10	テレビCMに見る日本とアメリカの違い スーパーボウルの高視聴率
11	日本をデザインする 企画力を鍛える：企画書をプレゼンテーションする
12	キャッチコピーとボディ コピー、写真を撮る
13	デザインが広告の未来をどう変えるのか？
14	クールなジャパンのプレゼンテーション マイ・アドの鑑賞・批評会
15	まとめ

#### 評価

各回の課題レポート（50%）広告表現課題提出と質（40%）レポート（10%）により評価し、60点以上を合格とする。また、三分の二以上の出席をすることで評価を受けることができる。

#### 授業外学習

【事前予習】出題された課題の調査・資料収集を行ない毎回提出する。

【事後学修】講評からリメイクまたは新しいアイデアの蓄積を行ない、最終まとめ課題に応用する。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】使用しない（配布するプリントのみ使用）

【推薦書】

【参考図書】

科目名	基礎ゼミナール		
担当教員名			
ナンバリング	KJh165		
学 科	人間生活学部 (K) - メディアコミュニケーション学科 (KJ)		
学 年		ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

1年生後期必修科目として、「入門ゼミナール」に引き続き大学生としての学修方法を学ぶとともに、メディアコミュニケーション学科で学ぶ内容を理解する。

まず、学科の講義分野（メディア社会、メディア文化、メディアデザイン、メディアデュース）の内容とその関連性を学び、本学科で学ぶこと、学べることを理解する。その上でメディアを活用した企画や作品制作の基本を学ぶ。後半は、企画、構成、役割分担など、1つの課題を達成するために必要な一連の作業の流れを学び、最後にグループに分かれて課題に取り組む。

大学での学びの基本を確実に理解し、それをグループでの作業に活かす能力を身につける。さらに2年生以降に履修する「ワークショップ」や「演習」、「卒業研究」などの科目に能動的に取り組む態度を養う。

内容	
1	オリエンテーション：学科での学び
2	科目群の概要（1）：メディア社会
3	科目群の概要（2）：メディア文化
4	科目群の概要（3）：メディアデザイン
5	科目群の概要（4）：メディアプロデュース
6	課題型学習の基礎（1）：問題発見と課題設定
7	課題型学習の基礎（2）：アイデアの開発と実行
8	模擬演習（1）：問題発見と課題設定
9	模擬演習（2）：アイデアの開発と実行
10	課題の解決と評価
11	グループ作業（1）：プロジェクト設定
12	グループ作業（2）：企画・構成・役割分担
13	グループ作業（3）：制作
14	発表
15	まとめ

評価  
課題・レポート（全部で100点満点）は授業で提出。総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】教科書、推薦書の中で授業内容に関連する部分を読んでおく。

【事後学修】テーマごとの課題を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】中澤務・森貴史・本村康哲編 『知のナビゲーター』 くろしお出版、1800円

【推薦書】松本茂・河野哲也 『大学生のための「読む・書く・プレゼン・ディベート」の方法』 玉川大学出版部 1470円

科目名	基礎ゼミナール		
担当教員名			
ナンバリング	KJh165		
学 科	人間生活学部 (K) - メディアコミュニケーション学科 (KJ)		
学 年		ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

1年生後期必修科目として、「入門ゼミナール」に引き続き大学生としての学修方法を学ぶとともに、メディアコミュニケーション学科で学ぶ内容を理解する。

まず、学科の講義分野（メディア社会、メディア文化、メディアデザイン、メディアデュース）の内容とその関連性を学び、本学科で学ぶこと、学べることを理解する。その上でメディアを活用した企画や作品制作の基本を学ぶ。後半は、企画、構成、役割分担など、1つの課題を達成するために必要な一連の作業の流れを学び、最後にグループに分かれて課題に取り組む。

大学での学びの基本を確実に理解し、それをグループでの作業に活かす能力を身につける。さらに2年生以降に履修する「ワークショップ」や「演習」、「卒業研究」などの科目に能動的に取り組む態度を養う。

内容	
1	オリエンテーション：学科での学び
2	科目群の概要（1）：メディア社会
3	科目群の概要（2）：メディア文化
4	科目群の概要（3）：メディアデザイン
5	科目群の概要（4）：メディアプロデュース
6	課題型学習の基礎（1）：問題発見と課題設定
7	課題型学習の基礎（2）：アイデアの開発と実行
8	模擬演習（1）：問題発見と課題設定
9	模擬演習（2）：アイデアの開発と実行
10	課題の解決と評価
11	グループ作業（1）：プロジェクト設定
12	グループ作業（2）：企画・構成・役割分担
13	グループ作業（3）：制作
14	発表
15	まとめ

評価  
課題・レポート（全部で100点満点）は授業で提出。総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】教科書、推薦書の中で授業内容に関連する部分を読んでおく。

【事後学修】テーマごとの課題を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】中澤務・森貴史・本村康哲編 『知のナビゲーター』 くろしお出版、1800円

【推薦書】松本茂・河野哲也 『大学生のための「読む・書く・プレゼン・ディベート」の方法』 玉川大学出版部 1470円

科目名	基礎ゼミナール		
担当教員名	田総 恵子、川瀬 基寛、石野 榮一		
ナンバリング	KJh165		
学 科	人間生活学部 (K) - メディアコミュニケーション学科 (KJ)		
学 年	1	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

1年生後期必修科目として、「入門ゼミナール」に引き続き大学生としての学修方法を学ぶとともに、メディアコミュニケーション学科で学ぶ内容を理解する。

まず、学科の講義分野（メディア社会、メディア文化、メディアデザイン、メディアデュース）の内容とその関連性を学び、本学科で学ぶこと、学べることを理解する。その上でメディアを活用した企画や作品制作の基本を学ぶ。後半は、企画、構成、役割分担など、1つの課題を達成するために必要な一連の作業の流れを学び、最後にグループに分かれて課題に取り組む。

大学での学びの基本を確実に理解し、それをグループでの作業に活かす能力を身につける。さらに2年生以降に履修する「ワークショップ」や「演習」、「卒業研究」などの科目に能動的に取り組む態度を養う。

#### 内容

1	オリエンテーション：学科での学び
2	科目群の概要（1）：メディア社会
3	科目群の概要（2）：メディア文化
4	科目群の概要（3）：メディアデザイン
5	科目群の概要（4）：メディアプロデュース
6	課題型学習の基礎（1）：問題発見と課題設定
7	課題型学習の基礎（2）：アイデアの開発と実行
8	模擬演習（1）：問題発見と課題設定
9	模擬演習（2）：アイデアの開発と実行
10	課題の解決と評価
11	グループ作業（1）：プロジェクト設定
12	グループ作業（2）：企画・構成・役割分担
13	グループ作業（3）：制作
14	発表
15	まとめ

#### 評価

課題・レポート（全部で100点満点）は授業で提出。総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前準備】教科書、推薦書の中で授業内容に関連する部分を読んでおく。

【事後学修】テーマごとの課題を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】中澤務・森貴史・本村康哲編 『知のナビゲーター』 くろしお出版、1800円

【推薦書】松本茂・河野哲也 『大学生のための「読む・書く・プレゼン・ディベート」の方法』 玉川大学出版部 1470円